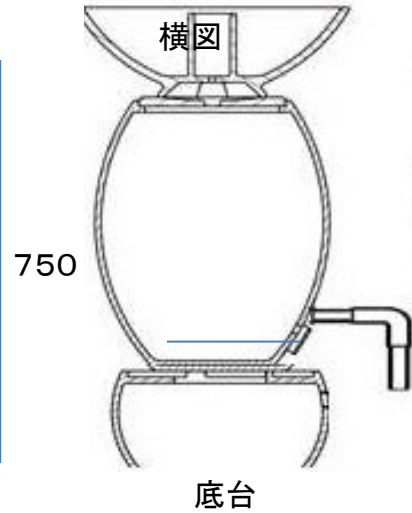
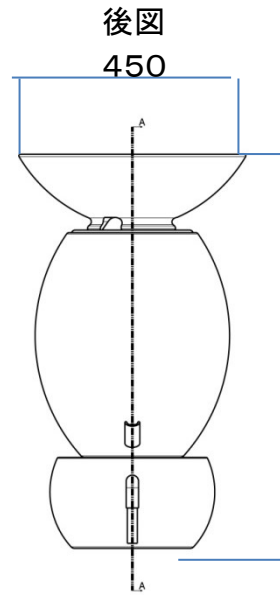


屋外用水琴窟yagai-180

鍾乳洞の水滴の琴の音を再現 水琴窟

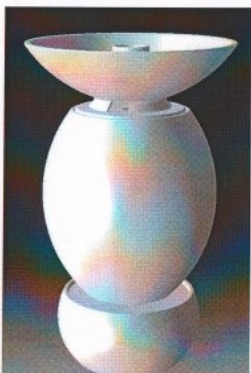
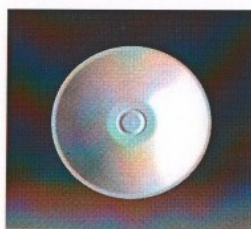


水鉢に水を張り中心の筒から
水が落ち
瓶の中から妙なる水音
*シュロ縄で落とすも良し
*竹勺で楽しむも良し
水の落とし方で音感が違うのが
水琴窟

排水口

容易に格安に設置できる。地上設置型水琴窟

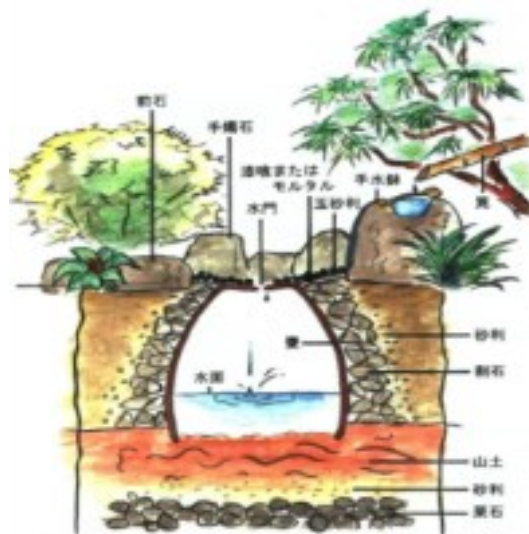
屋外設置用水琴窟 水琴窟を現代に（琴音）



* 1981年地上型水琴窟開発に成功
屋外設置用水琴窟(琴音S1-001)
W450×H750

水琴窟は、(日本庭園など和風坪庭にあります)

江戸時代に庭園の設備として用いられるようになり、明治時代に盛んになりました。がその起源詳細は不明です。一般的には蹲踞(つくばい)や縁先手水鉢の鉢前(うみ)の地下に造られたものです。その構造の多くは、底に小さな穴を開けた甕を伏せて埋め、手水の余水が甕の天井から「しずく」となって落ちるように工夫した。一種の発音装置(音具)です。伏せ甕の底に溜まった水面に落ちる水滴の音が甕の空洞で共鳴し、琴の音に似た妙なる音を響かせることから、いつの頃からか水琴窟と呼ばれるようになりました。その何とも言えない心地よい反響音。洞窟の中で聞く清水の垂れの音に例えればよいのか? ひんやりとした冷気さえ想像され、心の安らぎとともに、涼しさを感じさせられます。



伝統的な「つくばい水琴窟」の断面図